

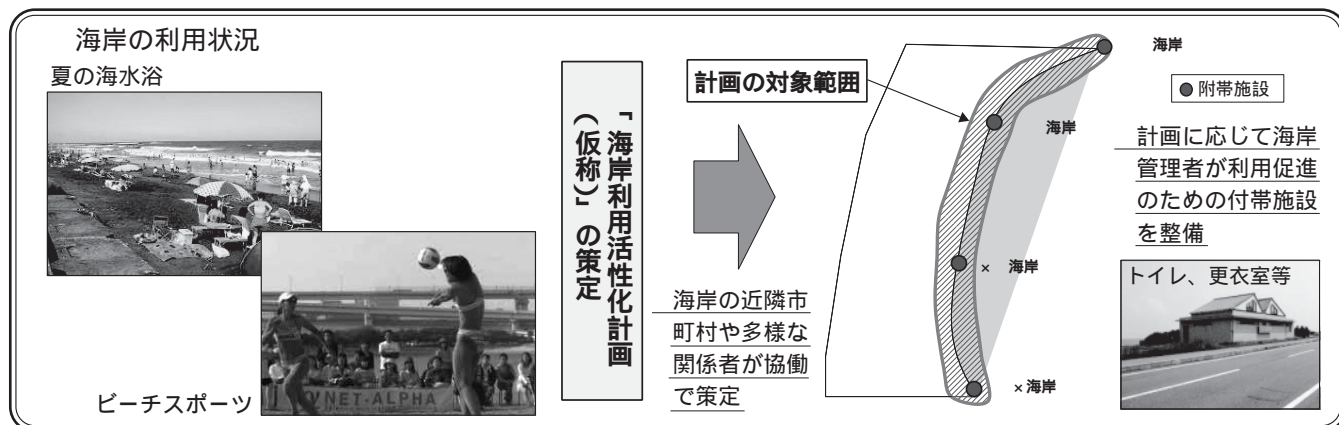
2 地域の活性化『活力』『暮らし』

指標：人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長【約6,700km(H14) 約6,800km(H18) 約6,800km(H19目標値)】

事業費約55億円(対前年度比1.04) 国費約30億円(対前年度比0.96)

海岸利用の活性化による魅力ある地域づくり

海岸利用の促進により地域活性化に寄与するため、複数の海岸を広域的に捉え、多様なニーズを踏まえた計画に基づいた海岸利用に資する施設整備を促進する。



地域住民、NPO等と連携した住民参加型の海辺づくり

地域住民やNPOとの連携強化により、地域の自然環境や地域固有の歴史を活かした海辺と人々とのつながりの密接化を促進し、かつての多様で豊かな海辺と人々とのつながりを現代の暮らしに叶う形で蘇らせる「里浜づくり」を推進する。

3 地球環境問題と少子高齢化への対応『暮らし』『環境』

指標：人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長【約6,700km(H14) 約6,800km(H18) 約6,800km(H19目標値)】

指標：失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合【0(H14) 15%(H18) H19までに約2割再生】

事業費約10億円(対前年度比1.12) 国費約4億円(対前年度比1.07)

海辺の環境や景観の保全・創造

多様な生物の生息・生育や優れた自然環境の形成など自然環境の積極的な保全や快適な海岸利用の促進及び生活環境の向上に資する海岸づくりを積極的に進める。

生物の生息環境に配慮した海辺づくり



竹原港海岸

生活環境の向上に資する海岸づくり



尼崎西宮芦屋港海岸